

ワールドカフェ in Kashiwa

【市民ワールドカフェ】報告

第1 「ワールドカフェ in Kashiwa」について

1 開催目的

第五次総合計画の策定に当たり、現在、各課及び庁内検討会にて作業中の分野毎の取組の方向性について、市民の皆様の様々な考えや意向等を把握し、市民とまちづくりに対する想いを共有する機会とするため実施しました。

2 実施方法

「ワールドカフェ in Kashiwa」は、カフェで行うような、オープンで自由な会話を求める手法である「ワールドカフェ」を参考に開催しました。

「ワールドカフェ」とは、会議室で繰り返される会議よりも、カフェテーブルでゆっくりとした気分で話しあい、生き生きした意見交換や新たな発想の誕生が期待できる、という考え方に基づいた話し合いの手法です。

この方法で、さまざまな価値観や違った環境をもつ人たちが集まる中でも意見交換がしやすいこと、思いのままを自由に発言できること、また多くのアイデアが創出されることを期待し、この手法を採用しました。



第2 市民意見まとめ

1 多数意見

参加者に「柏市の未来のために必要なことはこれだ！」という意見をいただきました。多かった意見は次のとおりです。

- ・ こどもの遊び場の確保
- ・ 元気な高齢者の活躍の場所づくり
- ・ 柏の資源を生かすまちづくり



2 市民意見

分野ごとに整理すると、以下ようになります。

- 人口減（少子化・子育て支援）
 - ・遊び場や自由に遊べるスペース（学校の利用）
 - ・こどもだけで行ける安全な場所（児童館など集まれる場を各地に）
 - ・駅前の保育施設の充実（流山の駅前送迎システム）
 - ・ボランティアによる学習や遊びの支援
 - ・地域ぐるみでの子育て
 - ・体験，経験ができ自分で考えることのできる外遊びの環境づくり
 - ・空き教室の活用（デイサービス，保育）

- 高齢化（健康長寿）
 - ・多世代との交流（シルバーパトロール）
 - ・道路を安全にし，歩道の拡張などから歩く健康の推進
 - ・外出の機会を増やす（コミュニティーの場が必要）
 - ・予防が大事。家にいるのではなくウォーキング，スポーツクラブへ
 - ・バリアフリーやユニバーサルデザインの考えを広める
 - ・近隣センターの改良で健康情報の取得

- 都市基盤・環境（インフラ・交通・自然等）
 - ・道路が狭い，またはバリアフリーにする
 - ・道路の渋滞が多いのでモノレールやコミュニティバスを充実
 - ・JRとTXのアクセス改善
 - ・高速が近いのにアクセスが悪く感じる（交通渋滞の緩和）
 - ・羽田，成田へのアクセスをよくする
 - ・冠水対策
 - ・宅地開発による緑の喪失

- 経済・活性化
 - ・人材の活用（高齢者，主婦）→交流
 - ・多世代の交流（こどもと企業，こどもとリタイヤ世代）
 - ・元気，活力のためには移動手段（交通手段）が必要
 - ・「人が集まる」⇔「企業が集まる」⇔「お金が集まる」の循環図

- ・手賀沼の活用
- ・駅周辺商業施設の拡充で若者の集まるまち
- ・市のPRが不足
- ・コミュニティバスで柏の主要観光地を回れる
- ・公共施設でもアクセスが悪い，駐車場が少ない（文化会館など）
- ・多世代の交流（こどもと企業，こどもとリタイヤ世代）
- ・観光地を作る（あっても渋滞とかダメ）
- ・柏駅周辺は駐車場が少ない，道が狭いので行きたくない

●コミュニティ

- ・地域住民が集えるコミュニティスペースの場
- ・増えてきつつある空き家で，地域の人をつなぐの構築
- ・世代間のコミュニティ不足。市でサークル作りのお膳立て
- ・柏市の情報PRや広報力を上げる（市民に伝える）
- ・学校を交流の場として活用
- ・このようなワールドカフェを地域でこまめに開催

●教育・文化・スポーツ

- ・特徴ある学校づくりのために学校の選択性（公立でも甘えるな！）
- ・運動能力向上のためのプログラム（体づくりから学力へ）
- ・こどもと大人のコミュニケーション強化（スポーツ等）
- ・体験学習（宿泊の野外学習，職場体験）で学ぶ意欲
- ・図書館の充実（こどもの居場所づくり。勉強ができるなど環境）

●行政サービス

- ・人材確保のために，前職を役所で聞き取り得意分野への参加
- ・市民活動などまちのことを考える機会を増やす

●協働

- ・ブラバン，レイソルなどの地域資源を生かす
- ・商業施設が多いがまわれないので企業に働きかけて周遊バスを運行
- ・T×沿線でコラボし，ゴルフや登山者に途中下車してもらう商業施設
- ・大学の活用で人を呼び込む

●安全（防災・防犯）

- ・世代に合った情報発信
- ・地域のコミュニケーション（声かけやあいさつ）
- ・まちを明るくきれいに
- ・男性の地域のつながり
- ・道を明るく，広く
- ・民生委員の積極的な活用で地域とのつながりを
- ・緊急時だけでなく平常時の必要な情報提供
- ・人と人とのつながりが防犯防災の予防に大切



< 参考 >

ア. 開催日程, 場所, 参加者数

● 第1回 (南部)

開催日時: 10月25日(土) 9時30分から14時まで

場 所: 南部クリーンセンター 会議室

参加者数: 47名

● 第2回 (中央)

開催日時: 11月9日(日) 9時30分から14時まで

場 所: 柏市役所本庁舎 第5・6委員会室

参加者数: 52名

● 第3回 (北部)

開催日時: 11月16日(日) 9時30分から14時まで

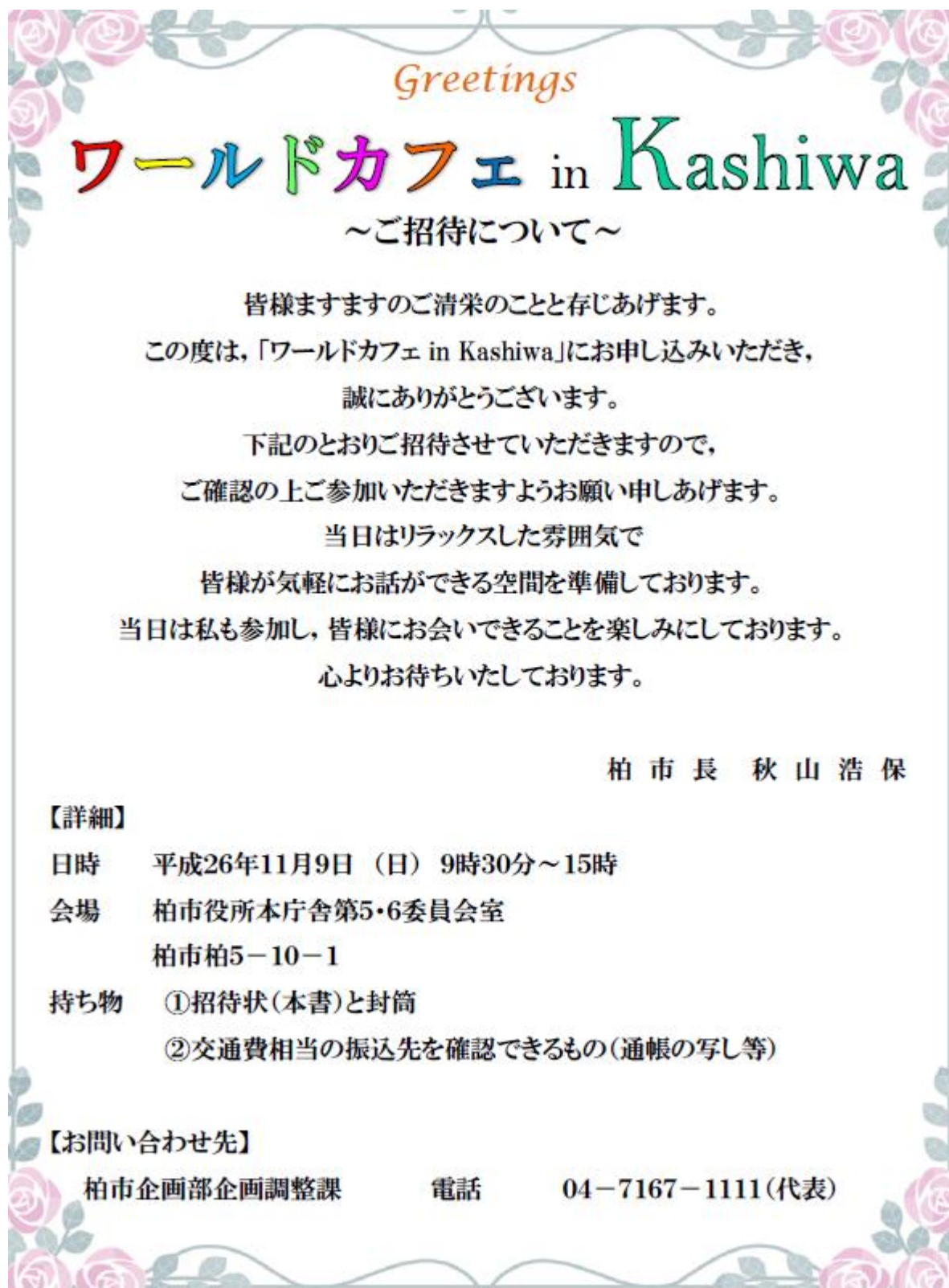
場 所: 千葉大学柏の葉キャンパス シーズホール

参加者数: 43名

イ. 参加者について

ワールドカフェの参加者は、柏市にお住まいの北部、中央部、南部の、各地域から1,500人の方を無作為にて選ばせていただき、ご参加の希望をいただいた方の中から210名を抽選させていただきました。実際にご参加いただいた方は142名でした。

ウ. 招待状（中央部）



エ. ワールドカフェの進め方

各内容のテーブルにクジで座っていただき、4～6名のグループになって、内容ごとに設けられた2つのテーマについて50～55分間話し合っていました。

お一人につき2つの内容について話し合っていました。

また、このワールドカフェの開始に先立ち、市長から柏市の現状や今後乗り越えていかなければならない課題、また市長が市に対する思いや大切にしていることなどを説明しました。

2つの内容について話し合っていた後、各内容について職員が話し合った内容をまとめ、全員で共有できるよう発表しました。

その後、話し合いや全体で共有した意見を参考に「柏の未来のために必要なことはこれだ!」と思うことを一人3枚の付箋に記入していただき、それにあてはまる内容へ投票していただきました。

